

KANAGAWA

一般社団法人 神奈川県建築士事務所協会 <https://www.j-kana.or.jp/> email: info@j-kana.or.jp

9

September, 2018

vol. 416

Contents

建築探訪...01

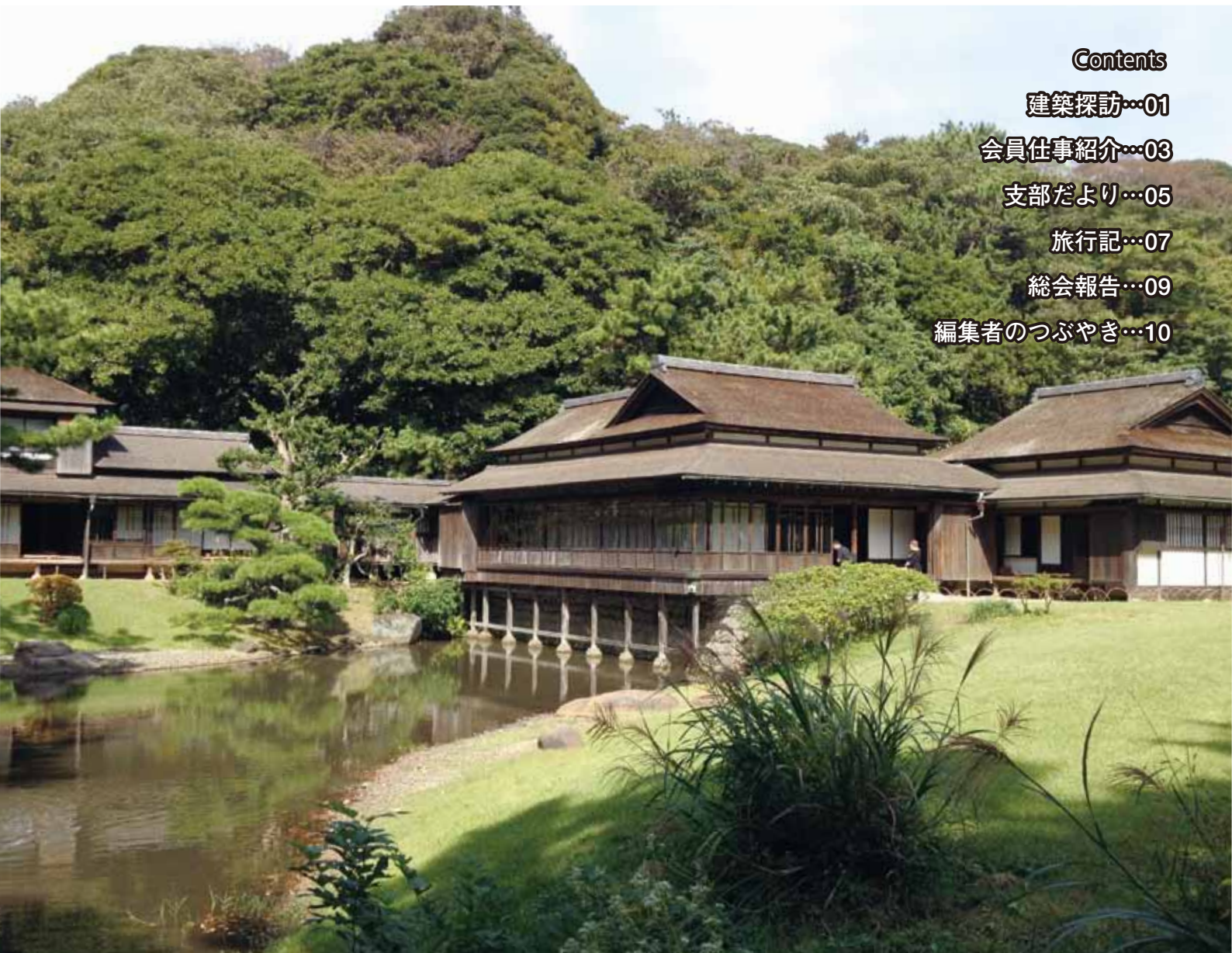
会員仕事紹介...03

支部だより...05

旅行記...07

総会報告...09

編集者のつぶやき...10



ローマの一日 ～BUONGIORNO☆Sig.RENZO PIANO～

菅沼設計ARCHI-STUDIO129 菅沼 浩一

一冊の本に導かれて、二度目のイタリアへ。友人、FAUSTO CALLIMACI氏から届いたフォトブック“Renzo Piano & Building Workshop”を無意識に開くと、そこに「三匹の巨大なスカラベ（ふんころがし）」が現れたのだ。そして私はローマへ向かった。



“Renzo Piano & Building Workshop”

フィウミチーノ空港に降り、鉄道でローマ駅へ到着。先ずはホテルを探しチェックイン。12月のヨーロッパはかなり冷えている。その夜、クリスマス・イルミネーションがきらめくローマ駅周辺を散策した。



ローマ・テルミニ駅

翌日、ローマに朝が来て、いよいよ徘徊スタート。日頃、住宅の設計業務が多くを占める生業となっているが、たまには大きなものを感じてみないと「器」が小さくなりそうだ、という屁理屈を捏ねての「ローマの一日」となった。Renzo Piano氏は、その響きの佳い名前と関西空港旅客ターミナルビルの設計やプリツカー賞を受賞したイタリアの建築家ということくらいの知識しかなかった。今回の訪問も大した必然性を感じてのものではなかったのだ。



共和国広場

S. Maria degli Angeli
e dei Martiri大聖堂

ローマ駅から大小の通りを歩き廻り、目に付いた建物やモニュメントを写真に収めながら、目的地方面へ向かっていった。駅前の共和国広場には、その外周に沿って映画館などを含む複合施設が視野を塞いで建っている。右周りに視線を動かすとS. Maria degli Angeli e dei Martiri大聖堂（Basilica）が現れる。脇の道を進み、ボルゲーゼ公園（Villa Borghese）とローマ動物園（Bioparco di Roma）をチラ見しながら目的地を目指しているとついにその片鱗を捉えたのだ。PARCO DELLA MUSICAに到着。



Auditorium Parco della Musica 全体図



Auditorium Parco della Musica 入口（小ホール前）

Auditorium Parco della Musica。2002年に誕生したこの建築は、ウィキペディアにもレンツォ・ピアノ氏の経歴には掲載されていない。巨大な容姿はローマに相応しいものかどうか、市民の批判にも晒されたかも知れない。しかし、建設中に発見された遺跡が保存展示されていたり、公園としてのレイアウトを目の当たりにして、決してローマにあるべきではないとは思えなかった。その大きく突き出した「スカラベ」の尻は打ち放しコンクリート造の曲面でまさに鱗状につながり、重々しくもあり、それでいて柔らかそうな質感に見える。大中小の三匹のスカラベは、収容人員の異なるコンサートホールや考古学博物館、美術館、図書館等に利用されている。見上げると、青空とグレイのモザイクの対比を頼もしく見入ってしまった。一冊の本に触発され、その作品の敷地に足を運んだ達成感を抱きながら、スカラベたちにCIAOと手を振り、テベレ川に向かい歩を進めた。



Auditorium Parco della Musica (中ホール)

Auditorium Parco della Musica
広場から大ホール（左）と中ホール（右）を見上げるAuditorium Parco della Musica
Corso Di Franciaを挟んで「三匹のスカラベ」を捕捉

Ponte Milvio



オリンピックスタジアム



サンピエトロ広場

ミルヴィオ橋Ponte Milvio を渡り、テベレ川の右岸を下流に向かう。この川は地中海に注いでいるのである。さまざまに想像を巡らせながら、オリンピックスタジアムを眺めていった。そしてサンピエトロ広場を目指す。徐々に観光客の数が増えてきたことを感じた。バチカン市国に入国。クリスマス前なので、ツリーも設えられ、雰囲気を整ってきたようだ。二度目の訪問なのでそそくさと出国し、サンタンジェロ城を眺める。ウンベルト1世橋を渡り、ナボーナ広場、トレビの泉、フォーロロマーナ、コロッセオを巡り、ローマを一日で満喫、歩きつくした気分だった。歩数46,000超。FIN.

Grazie mille、Ciao、Fausto Callimaci.

会員仕事紹介

横浜支部

〈はじめに〉

先代より横浜市青葉区で事務所を構えて36年、延べ300棟もの建築に携わらせて頂きました。設立当初は集合住宅、大企業の独身寮、金融関係のテナントビルなどの新築工事を多く手掛けたようですが、最近は福祉関係の仕事に携わることが多くなり、新築だけでなく当社で手掛けた建物以外も含め改修や修繕の仕事も増えてきました。

〈福祉施設について〉

住環境は、高齢者、障がい者に配慮した住環境をベースに健常な人にとっては住みやすいものであるべきです。障がい者施設だからといって特別に扱うのではなく、また特殊解を示すことでもなく自然にノーマライゼーションの基本理念でした。今までの福祉施設は都市近郊に建設されるのが常でしたが、近年の建設地においては街中に建設する傾向にあり、地元との共生

株式会社野路設計 野路 健太郎

を求めています。現代都市の災害時の脆弱さを補う意味からも防災拠点としても市民の一員として地元とこれらの施設が地域にとけ込んでいけることが求められていると思います。現在は医療技術の進歩から障がい者も高齢化してきており、それに伴う施設の準備や設計も日々進歩していかななくてはなりません。

〈設計の違い〉

改修や修繕の設計は新築と違い既存図面の理解や現地の調査がとても重要になります。図面が残っていない場合や過去の改修工事の資料が無い場合、調査できない部分などは設計者の経験が頼りです。施主の要望も新築と違い具体的です。使いづらい部分や壊れた部分などを改善する事を求められますので、事前の綿密な打ち合わせを繰り返し、意図をよく理解して設計する事が求められます。

3



■地域活動ホーム・地域ケアプラザ
●建築主：社会福祉法人
●敷地面積(㎡)：1,907.01
●延床面積(㎡)：1,522.97
●構造・規模：RC造 地下2階 地上1階
●竣工(西暦)：2011



■地域療育センター
こども家庭支援センター
●建築主：社会福祉法人
●敷地面積(㎡)：5,058.66
●延床面積(㎡)：5,197.50
●構造・規模：RC造 地上4階
●竣工(西暦)：2013



■障がい福祉サービス事業所
●建築主：社会福祉法人
●敷地面積(㎡)：993.93
●延床面積(㎡)：716.61
●構造・規模：RC造 地上3階
●竣工(西暦)：2015



■保育所
●建築主：社会福祉法人
●敷地面積(㎡)：662.66
●延床面積(㎡)：750.07
●構造・規模：S造 地上3階
●竣工(西暦)：2015



■福祉型障害児入所施設
 ●建築主：社会福祉法人
 ●敷地面積(㎡)：4,242.23
 ●延床面積(㎡)：1,540.12
 ●構造・規模：RC造 地上3階
 ●竣工(西暦)：2016



■福祉型障害児入所施設
 ●建築主：社会福祉法人
 ●敷地面積(㎡)：11,975.99
 ●延床面積(㎡)：3,548.26
 ●構造・規模：RC造 地上2階
 ●竣工(西暦)：2018



■保育所
 ●建築主：社会福祉法人
 ●敷地面積(㎡)：1,703.93
 ●延床面積(㎡)：1,143.32
 ●構造・規模：S造 地上2階
 ●竣工(西暦)：2016



■障がい福祉サービス事業所
 ●建築主：社会福祉法人
 ●敷地面積(㎡)：1,102.91
 ●延床面積(㎡)：1,170.00
 ●構造・規模：RC造 地上3階
 ●竣工(西暦)：2017



■神社 参集殿
 ●建築主：宗教法人
 ●敷地面積(㎡)：1,025.55 ●延床面積(㎡)：232.7
 ●構造・規模：木造 地上1階 ●竣工(西暦)：2018予定

〈最近の仕事〉

直近の仕事の一つで、800年続く地元の神社の参集殿を設計しました。20年前より社務所の増築や神楽殿の新築など長いご縁をいただいている神社で、参集殿の計画ではS造、RC造、最終的には木造になるなど多くの打ち合わせの上で着工に至りました。現在では9月の竣工に向け順調に工事が進んでおります。

今後も時代に合った用途の建物の新築、増築、改修の設計で地域の発展に貢献していきたいと思います。

支部だより

横須賀支部

横須賀支部だより

横須賀支部長 株式会社アスデック建築事務所 小泉 厚

平成としての最後の年、平成30年4月、横須賀支部では各委員会から今年度の企画提案を予算とともに出してもらい、市民そして地元で設計事務所を構える人にとって必要となるべく「横須賀支部」のあり方を模索し始めました。

各委員会より提案されました企画を分類し、紹介しますと

■イベントを通して横須賀支部の周知活動

- ・ 第7回横須賀建設フェスタの企画及び参加 (6月3日)
- ・ ふれあいフェスティバル2018の運営参加 (6月3日)
- ・ 横須賀産業まつりへの参加 (11月3日、4日)

■パンフレット等を通して各委員会の業務等を市民へ周知

- ・ 委員会の周知啓蒙啓発として関係機関へダイレクトメールの発送
- ・ 委員会の市民向けパンフレット作製（委員会コラボによる共同作業）

■会員の自己啓発への企画

- ・ 支部研修旅行の企画・実施 (6月29日、30日) 岐阜・愛知方面 後日旅行記掲載予定
- ・ 建物見学会 (6月5日福祉施設見学)
- ・ 木造耐震改修新人向け現場見学会（調査時及び改修時）
- ・ 委員必修講習会（木造耐震改修委員会、インスペクター委員会等）
- ・ よこすか優良設計事務所協議会への参加
- ・ よこすか都市景観協議会への参加

■会員の親睦

- ・ 暑気払いとしての花火大会鑑賞 (8月4日)

■横須賀市との「住宅関連の消費者トラブル相談及び啓発等に関する市民協働モデル事業」協定（平成29年度～平成31年度）

- ・ 建築関連事業者向け講習会の開催「消費者と契約トラブルを起こさないための事業者としての心得 講演者：消費者問題に詳しい弁護士 9月27日」
- ・ 建築相談委員としての必要な勉強会及び委員会開催
- ・ 建築相談、トラブル相談の対応・事例記録及び資料等の整理
- ・ 各行政センターでの出前相談会の開催

等が企画提案され、「有言実行」、一つ一つを誠実

に遂行していくことで市民に周知され、頼られ、また未加入の方にも必要とされる「横須賀支部」を目指して、平成30年度も邁進していきます。



支部研修旅行（多治見市モザイクミュージアム）



第7回建設フェスタ



暑気払いとしての花火大会鑑賞



建築相談パンフレット

支部だより

相模原支部

相模原支部だより

株式会社TERRAデザイン一級建築士事務所 寺本 勉

相模原市は南区・中央区・緑区の3つの区から構成される政令指定都市ですが、平野部においては3つの台地から成り、歴史としては80年程前までは雑木林など原野の広がるエリアでした。現在の市街地は、軍都都市構想や工業団地開発などにより短い時間の中で形成されてきたといえます。

山間部においては、相模湖や津久井湖などいくつもの湖とダムのほか道志川、相模川などの河川を有しています。これらの水資源より上水を県内各所に配り、またダムに付随する水力発電所より電力を県内各所に配っています。

そして、現在では相模原補給廠一部返還やリニア新駅建設など建築・まちづくり関連の大きな動きが見られるエリアになります。

このように県内の中でも現在進行形の動きが盛んなエリアを活動場所としている相模原支部で、5月28日に相模原支部総会を開催しました。

総会における活動報告より主だった活動を取り上げると、毎年参加している相模原市民桜まつりと相模原市民協働事業提案制度採択の2事業「魅力ある商店街を育てる景観まちづくり事業」と「空き家を活かしたしくみと暮らしやすいまちづくり事業」になります。

この2つの事業は共に単年度にて業務を終了しましたが、ここで得られた情報や成果を次年度からどのように支部活動の中で展開するかを現在企画検討しています。継続的な地域活動へと結びつけ、会員事務所の業務にもつながるような手掛かりになれば、支部活動活性化を図ることができるのではと考えています。

これらを踏まえ、平成30年度の支部事業計画におけるビジョンは冒頭にご紹介したように相模原市の情勢と支部活動の継続・展開を踏まえて次の通りとしました。

「私たち独自のまちづくりビジョン」

- 1.交通ネットワークを含めた我が町「さがみはら」のシティーポテンシャル（まちなみ、商店街、空き家対策）向上に貢献します。
- 2.支部の『活性化・事業化』×『強い組織力』×『次世代への継承』に努め「会員増強」に繋げます。

なお、総会後の懇親会は協働事業にてつながりを深めた団体にも新たにご参加頂き、他業種団体との連携の期待感を抱くことが出来ました。



懇親会



城山湖からの相模原市街地



総会

フランス・ロワール地方の古城・旧貿易港・街ほか 旅行記

(株)白川設計 白川 正孝

昨年10月、娘家族が住むフランス・パリから南に40分程の古い街ムランに出かけた。今回は、娘家族と一緒にムランを起点にパリの街・建物やムラン近郊の街又、ロワール川沿の世界遺産の古城、ビスケー湾に臨むナントの街や施設を見て廻った。

◆先ずは、自然派画家のミレー・クールベ等が定住し、「落穂ひろい」「晩鐘」等々の名作を残したバルビゾン村や画家のアトリエを見学し、当時の画家の生活を覗いて廻った。



バルビゾン村-ミレーのアトリエ



アトリエ入口



◆パリエッフェル塔に隣接・セーヌ川沿いに建つ「ケ・ブランリー美術館」：

2006年フランス・シラク大統領の呼びかけで開館した当美術館。国立人類博物館及び国立アフリカ・オセアニア美術館から移動した紀元前2千年紀から21世紀初期の「アフリカ・アジア・オセアニアそしてアメリカの文明」所蔵品が保管・展示される。

ジャン・ヌーヴェルの設計で異文化間の架け橋となり様々に異なる来館者の好奇心を刺激し期待に応える手法が見られ楽しい。導入部のスロープの仕掛けデザインが良い。



美術館庭とエッフェル塔



樹木と中空に浮く美術館



セーヌ川沿い入口付近



展示品の一部

◆ロワール渓谷沿いの古城「シャンボール城」：

フランス西部を流れるロワール川渓谷沿いの世界遺産・古城「シャンボール城」に立ち寄る。

1519年フランソワ1世によって建設着手し、約140年掛けルイ14世の時代に完成する。又、レオナルド・ダ・ヴィンチが設計したとされる場内中央の二重らせん階段が有名で、会津・飯盛山の円通三匠堂「さざえ堂」を思わせる楽しい階段だった。



ロワール渓谷のシャンボール城



中央の二重螺旋階段塔屋

◆ビスケー湾に面する旧貿易港・現在アートの街「ナント」：

「ブルターニュ大公城」はブルターニュ公により1207年建設・1466年再建の古城。1532年ブルターニュがフランスに統合される。ナントの街も種々な歴史変遷を持ち、アフリカ奴隷船の母港から、砂糖産業・ビスケット製造の地としてビスケットを国内・外に輸出し、17～18世紀は造船業の中心地になり、19世紀には工業都市に変貌する。1940年ナチス・ドイツに占領され、1944年米軍がナントを解放した。現在フランス第4の海港であり、アートの街として海外からも注目されている。



ブルターニュ大公城：現博物館



ナント市街の商業アーケード



ナントの全景



ロワール川に繫留する帆船



ビスケー湾に注ぐナントの中州

◆旧造船所が、クリエイター集団「ラ・マシン」の手によって遊園地に生まれ変わった。機械仕掛けの生き物が動き回るアトラクションが大好評で、フランス各地ほか近隣国から観光客で賑わっている。又、他国のアトラクションに「ラ・マシーン・ド・リル」が海外に遠征している。「ナントの港」と「横浜の港」の歴史変遷と、2つの港街の変貌に思いを馳せる。



[アートの街＝ラ・マシーン・ド・リル]のアトラクション・子供たちが興奮状態になる

委員会活動報告

「住・緑・家」運営専門委員会

「住・緑・家」運営専門委員会
委員長 新村 玲子

神事協組織・業務支援委員会の下部組織である「住・緑・家」運営専門委員会は、会員事務所の業務に繋がるコンペ運営を目的に委員会を設置しております。

平成17年の運営部会開始より13年を迎えました。当初、神奈川県木材業協同組合連合会（県木連）の共催による折りもあり神奈川県産木材の積極利用のため、山林の見学会や製材所視察などを行い、合法木材の勉強会など、住宅中心のコンペを行っていました。その後、平成20年の平塚市諏訪町会館を皮切りに、「住・緑・家」コンペシステムは町内会館・自治会館などの、半公共建築物の設計者選定に向いている事もあり、住宅よりも町内・自治会館のコンペ実績数を伸ばしております。（現在21物件実施）

現在の委員会活動として、

- 1.申し込み物件のスムーズなコンペ開催を行うためのシステム見直し
- 2.一般者への当コンペシステム申し込みを促すための周知活動
- 3.会員に対する、コンペ参加促進と業務支援の充実
上記3本を中心に、協議・外部活動をしております。

一般者へのPR活動の一端として、5月26日（土）横浜そごう「新都市プラザ」「新都市ホール」にて、（県）かながわ木づかい推進協議会、水源環境保全課及び神奈川新聞社主催の「かながわ家づくりフェア」に出展し、新しい住宅版パンフレットを委員により配布し情報発信を行いました。



家づくりフェア



家づくりフェア



パンフレット

コンペ実績を促進するためにも、各支部の「仕事展」などイベントに参加させていただき、周知活動を進めたいと思いますので、オール神事協にて「住・緑・家」運営専門委員会の活動に、ご支援ご協力を宜しくお願い致します。

最後に、4月に完成した川崎支部・伊藤寛アトリエ設計の横浜市大豆戸町内会館開所式の様子を紹介いたします。また、近日個人住宅F邸も完成により、次回ご紹介できればと思います。



大豆戸外観

感謝状授与

新入会員のご紹介

7月入会者

横浜支部

株式会社エールハウス一級建築士事務所 伊丹 勇司
〒233-0002横浜市港南区上大岡西3-19-16
TEL.045-845-1400 FAX.045-845-1003

8月入会者

川崎支部

株式会社GDS一級建築士事務所 儀同 房男
〒210-0015川崎市川崎区南町18-3 KJビル3A
TEL.044-201-8761 FAX.044-201-8762

退会者

横浜支部

有限会社アサマ建築設計事務所 浅間 三津佳
株式会社都市・地盤研究所 内山 勝麗
株式会社エールコーポレーション一級都市設計研究所 伊丹 勇司

鎌倉支部

J・フォルム計画工房 一級建築士事務所 梅澤 明弘

相模原支部

大沢設計室 大沢 保
有限会社相一設計一級建築士事務所 犬飼 徹

変更

横浜支部

クランツ一級建築士事務所
(事務所所在地、TEL、FAX変更)
〒236-0052横浜市金沢区富岡西7-3-14 1階
TEL.045-370-8512 FAX.045-370-8515

伊藤工務店一級建築士事務所
(事務所所在地、TEL、FAX変更)
〒231-0033横浜市中区長者町8-135 The Tact Yokohama503
TEL.045-309-6633 FAX.045-309-6634

川崎支部

株式会社T & A設計
(事務所所在地、TEL、FAX変更)
〒210-0005川崎市川崎区東田町11-22 FTKビル6F
TEL.044-221-3131 FAX.044-221-3132

株式会社富士一級建築士事務所
(指定代表者変更) 三浦 康久

県西支部

株式会社西湘建設
(事務所所在地、TEL変更)
〒256-0816小田原市酒匂1-11-6
TEL.0465-47-4757

賛助会新入会員

ロンシール工業株式会社
株式会社シェルター

会 勢

会 勢		平成30年6月15日現在			
支部名	平成30年4月1日	現在	入会者	退会者	増減
横 浜	257	259	6	4	2
川 崎	107	109	2	0	2
横 須 賀	53	53	0	0	0
湘 南 三 浦	17	17	0	0	0
藤 沢	43	43	0	0	0
鎌 倉	41	40	0	1	-1
茅ヶ崎寒川	17	17	0	0	0
平 塚	23	23	0	0	0
秦 野	16	16	0	0	0
伊 勢 原	6	6	0	0	0
大 和 綾 瀬	18	18	0	0	0
厚 木	29	29	0	0	0
座 間	15	15	0	0	0
海 老 名	16	16	0	0	0
愛 川	6	6	0	0	0
相 模 原	70	70	2	2	0
県 西	40	40	0	0	0
合 計	774	777	10	7	3
賛助会員	92	96	4	0	4

※退会報告等の状況により会員数は常に変動しております。※入会者、退会者には支部間の異動も含まれます。

編集者のつぶやき

9月に入ると、残暑が厳しいものの朝夕は、涼しさを肌で感じるようになります。

気候を表す慣用句に“暑さ寒さも彼岸まで”と言う様に、彼岸を過ぎると、つるべ落とし、あっという間に秋がやって来ます。秋を告げる彼岸花（曼珠沙華）。子どもの頃、お彼岸になると、土手や畦道には、鮮やかな赤色の彼岸花が、咲きほこっていました。綺麗な花には毒があると言われ、見るだけの花であった彼岸花。まっすぐ伸びた茎の先に印象的な花をつけ、群生します。球根に毒がある事などから、別名も多くあります。日本全国に分布し、農作物、墓を守るために、植えられたとも言われています。救荒作物（非常時に食用とする）や生薬として利用されていると言う。伊勢原市の日向薬師付近では、100万本の彼岸花が咲くそうです。出かけてみませんか!!

〈横浜支部 雨森 隆子〉



かながわ 平成30年9月号（通号416号）

発行 平成30年9月1日（奇数月1日発行）
発行人 白井 勇
発行所 一般社団法人 神奈川県建築士事務所協会
〒231-0032 横浜市中区不老町3-12 第3不二ビル2F
TEL. 045-228-0755 / FAX. 045-212-3807
印刷所 株式会社 柏苑社

担 当 副 会 長 西倉 哲夫
・ 広報情報委員長 杉本 勝郎
・ 広報情報副委員長 相原 聡
・ 広報情報委員 雨森 隆子 赤川 真理 小山 将史
・ 田代 智子 田中 敦史 仙波 弦
・ 石川 勝彦 神尾 明美
・ 事務局 久保田 千尋



今月の表紙

三溪園

重要文化財の建築物が、多く点在する三溪園は1906年に公開。園内の茶室では、今も茶会が行われます。三溪園の創設者、原三溪は、茶会前の食事に着物を汚さないようにと、汁無しの三溪そばを考案したそうです。

三溪園にて、秋を感じながら、一度ご賞味されてはいかがでしょうか！！



一般
社団法人

神奈川県建築士事務所協会

Kanagawa Architect Office Association